

「第2回子牛の呼吸器疾患に関する全国アンケート」調査 報告

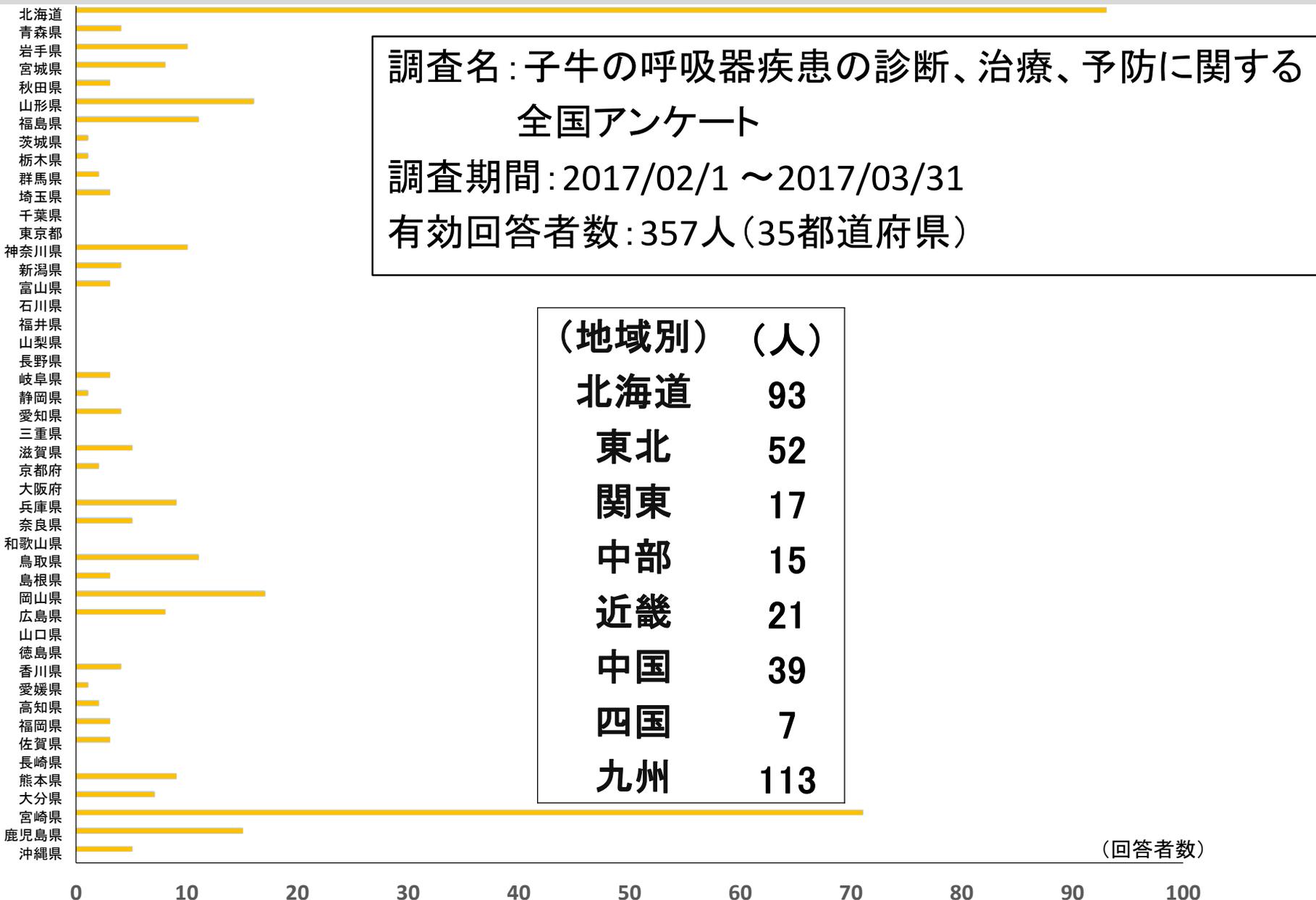
乙丸孝之介

(家畜感染症学会事務局)

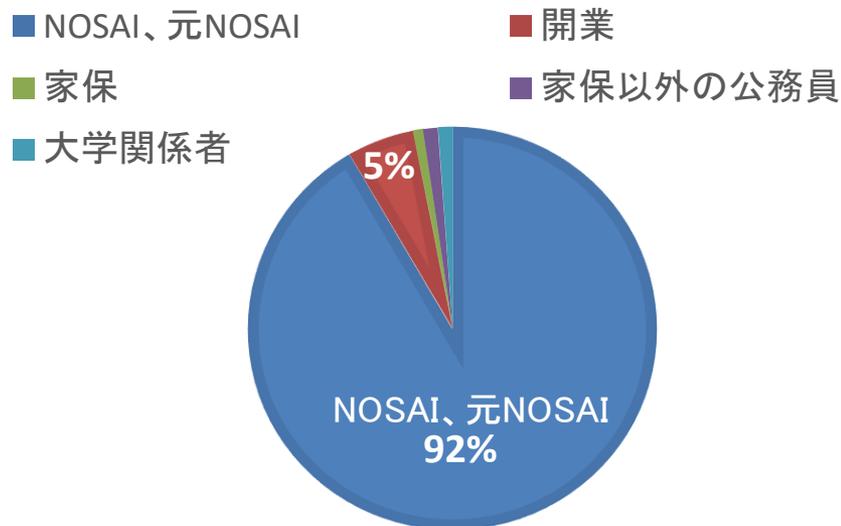
鹿児島大学 共同獣医学部

都道府県

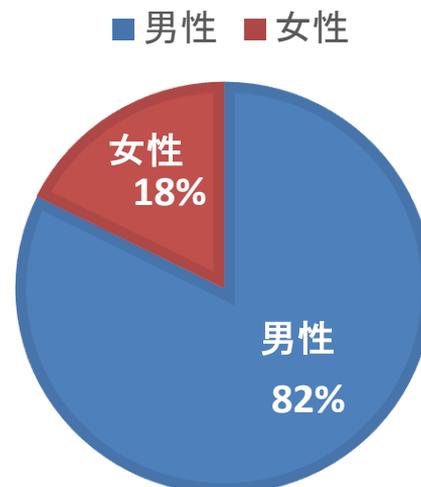
あなたがお住まいの都道府県をお選びください。



あなたの所属をお答えください。



あなたの性別をお答えください。



あなたの年齢をお答えください。

臨床経験年数をお答えください。

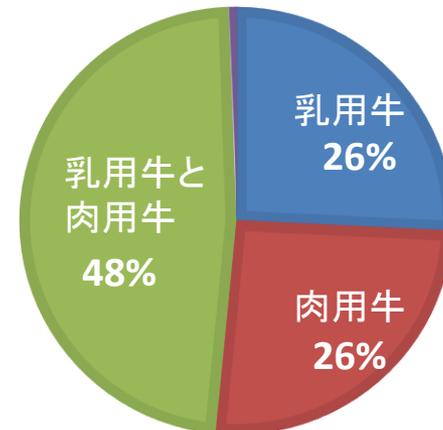
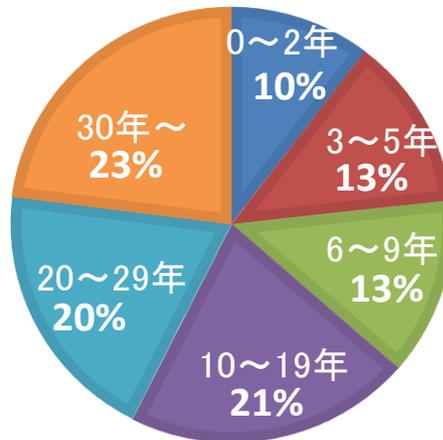
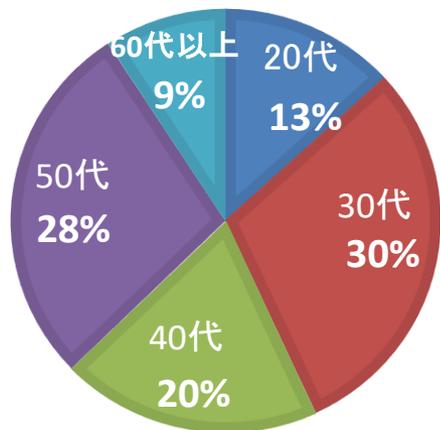
主な診療対象牛はどれですか？

(回答は1つ)

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上

■ 0～2年 ■ 3～5年 ■ 6～9年
■ 10～19年 ■ 20～29年 ■ 30年～

■ 乳用牛 ■ 肉用牛
■ 乳用牛と肉用牛 ■ 交雑種牛



子牛の呼吸器疾患の診断について

- ・病態把握方法、・臨床検査方法、・起因病原体を推測(把握)方法

子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

- ・使用抗菌剤(種類)、・継続使用日数、・併用薬、・治癒の判定法など
- ・哺乳期(3ヵ月齢未満)、子牛育成期(3~9ヵ月齢)において

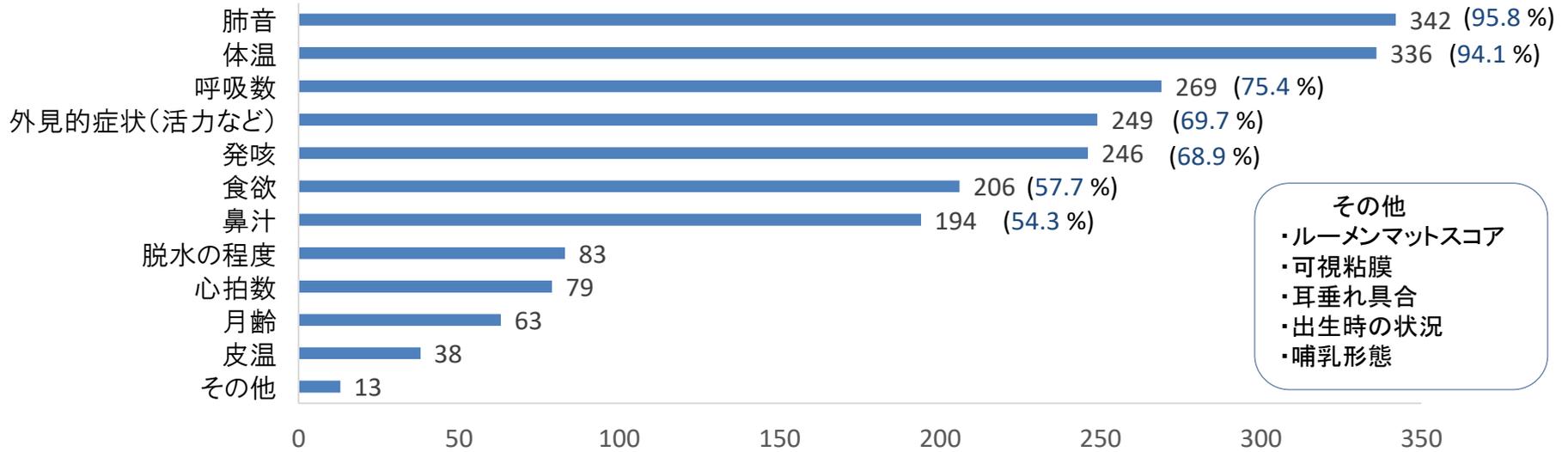
・子牛の呼吸器疾患の予防について

- ・呼吸器病多発農家の特徴、・管理指導上の留意点など

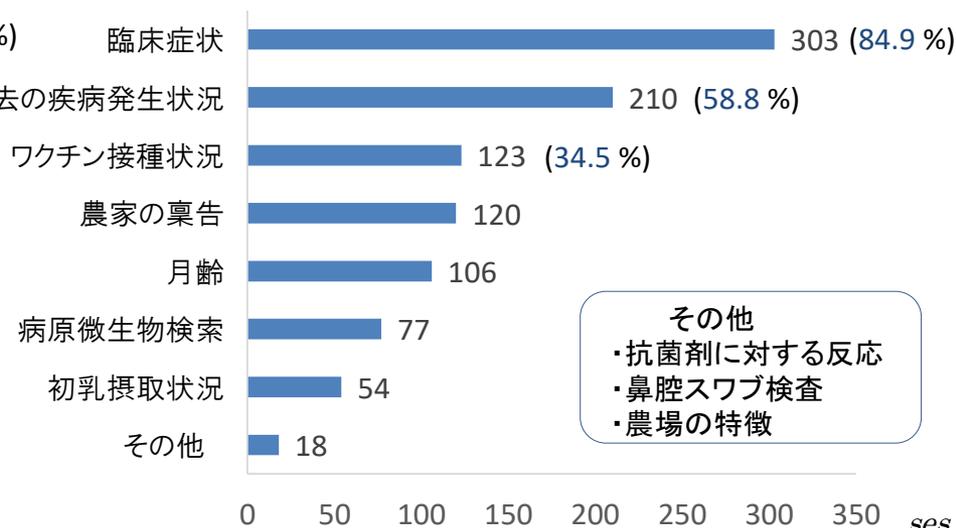
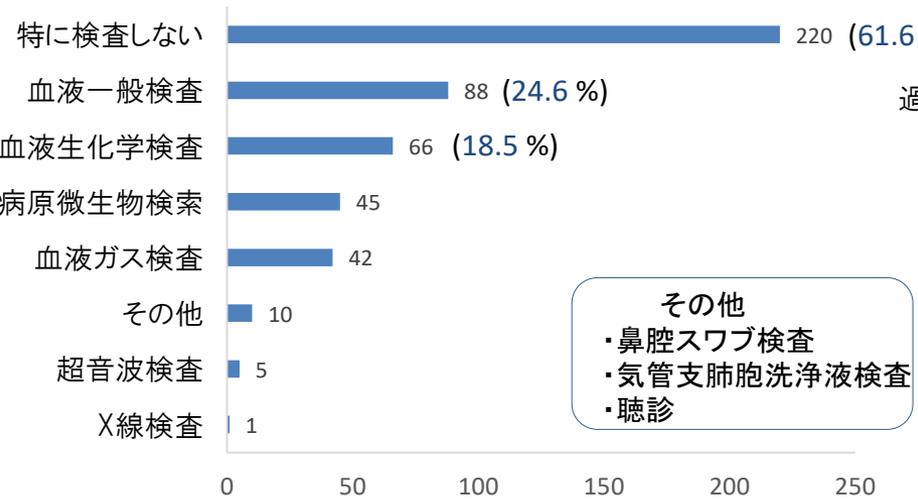
子牛の呼吸器疾患の診断について

回答者数: 357人

病態把握のために主に基準としているものは何ですか？(複数回答)



診断のために主に行う臨床検査はどれですか？(複数回答) 感染性呼吸器疾患の起病因原体を推測(把握)する上で、実際に重視しているは何ですか？(複数回答)

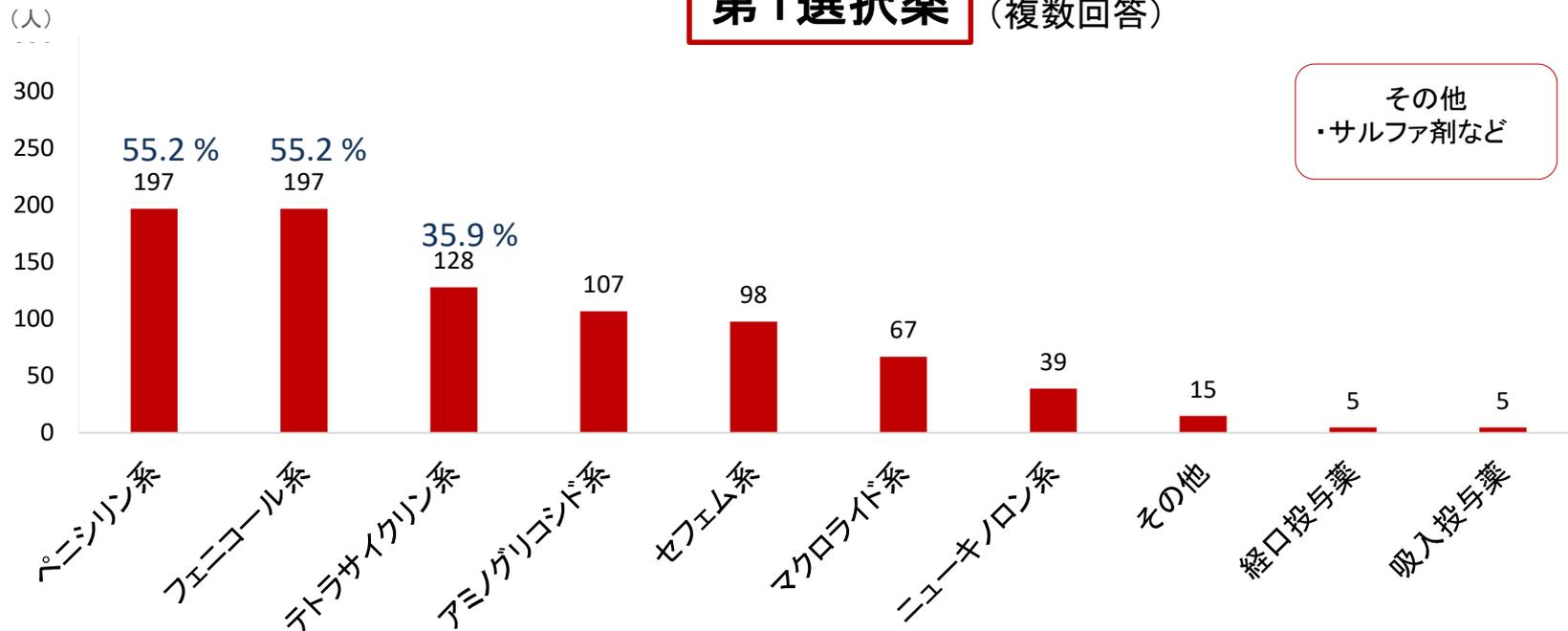


子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

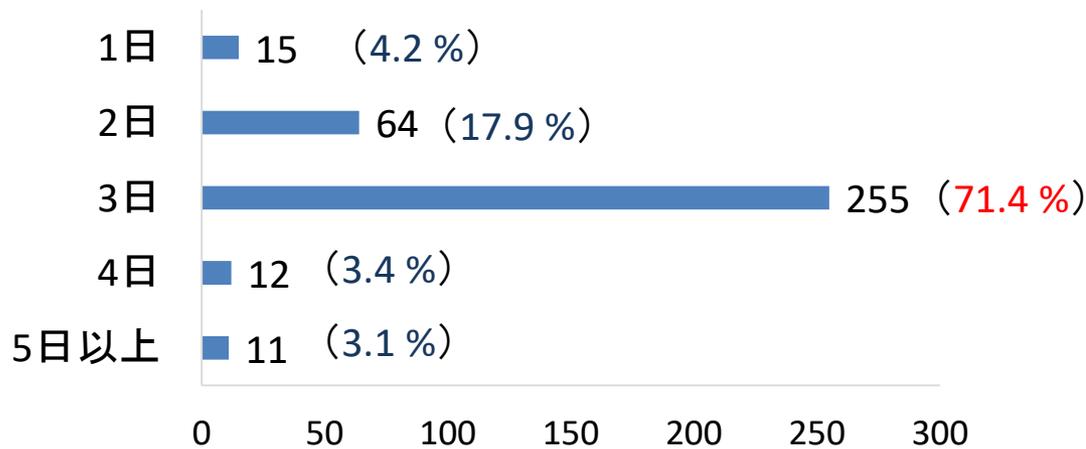
哺乳期(3カ月齢未満)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

回答者数:357人

第1選択薬 (複数回答)



第1選択薬の継続使用期間は主にどのくらいですか？



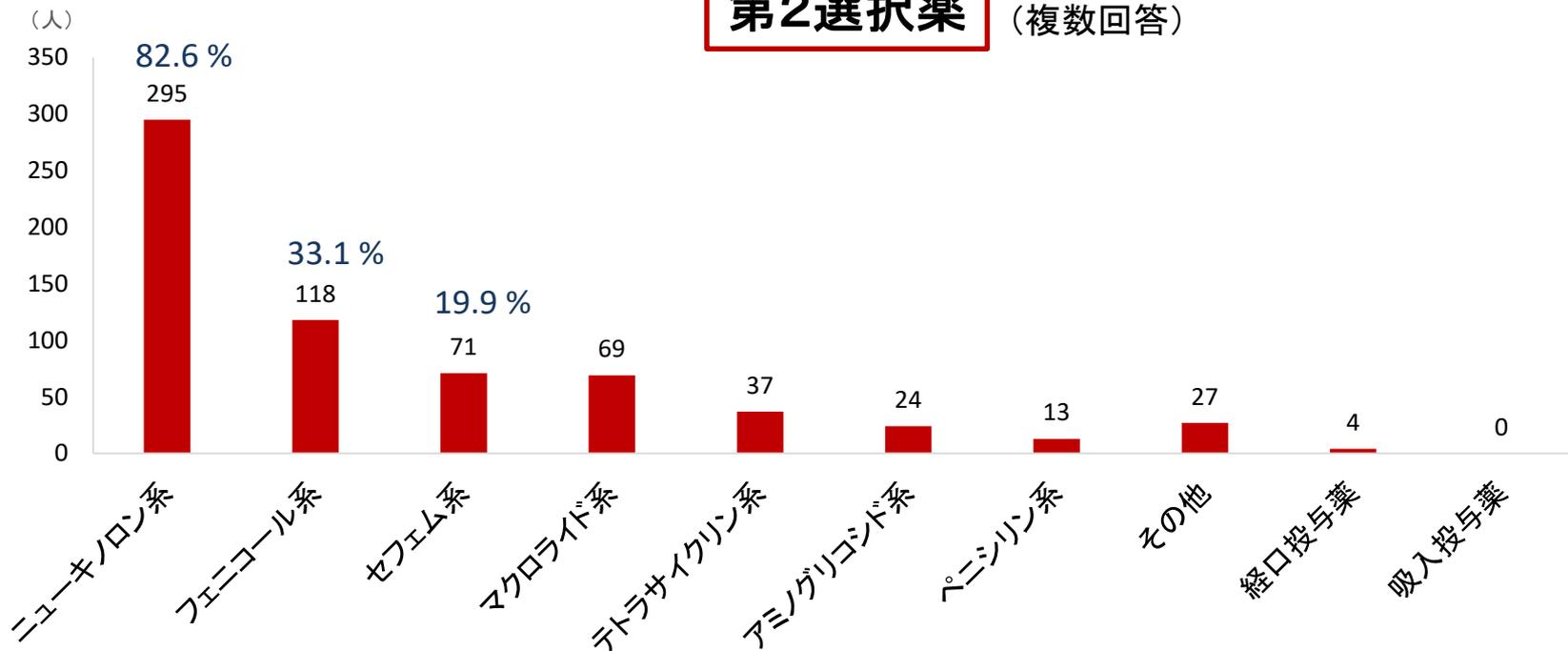
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

哺乳期(3カ月齢未満)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

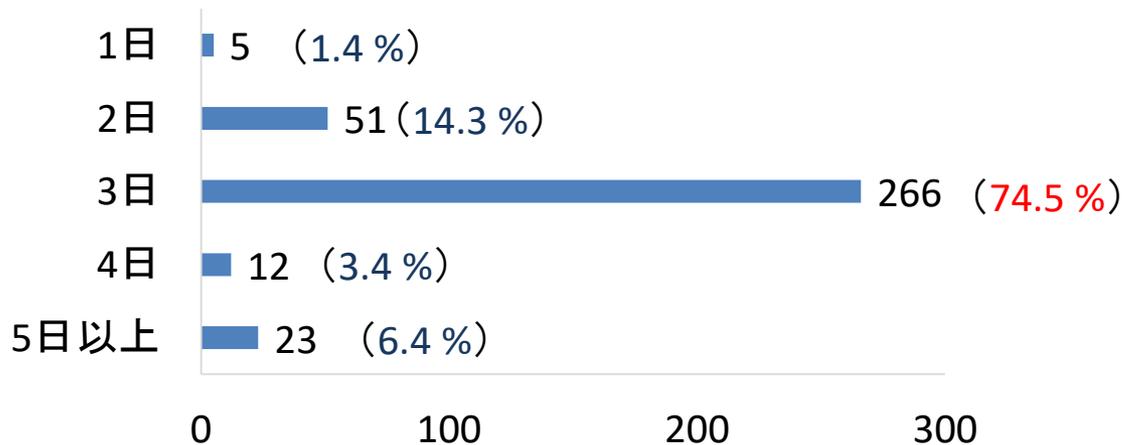
回答者数:357人

第2選択薬

(複数回答)



第2選択薬の継続使用期間は主にどのくらいですか？



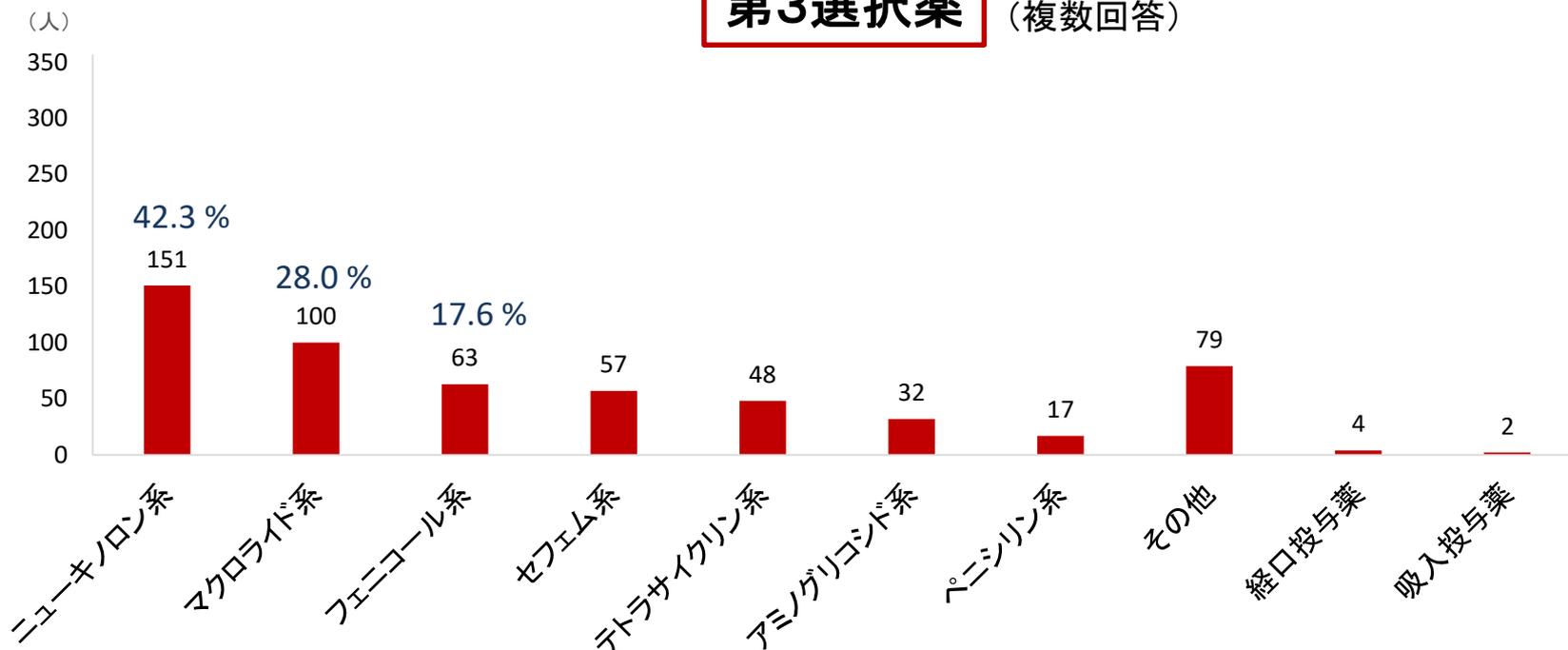
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

哺乳期(3カ月齢未満)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

回答者数:357人

第3選択薬

(複数回答)



その他

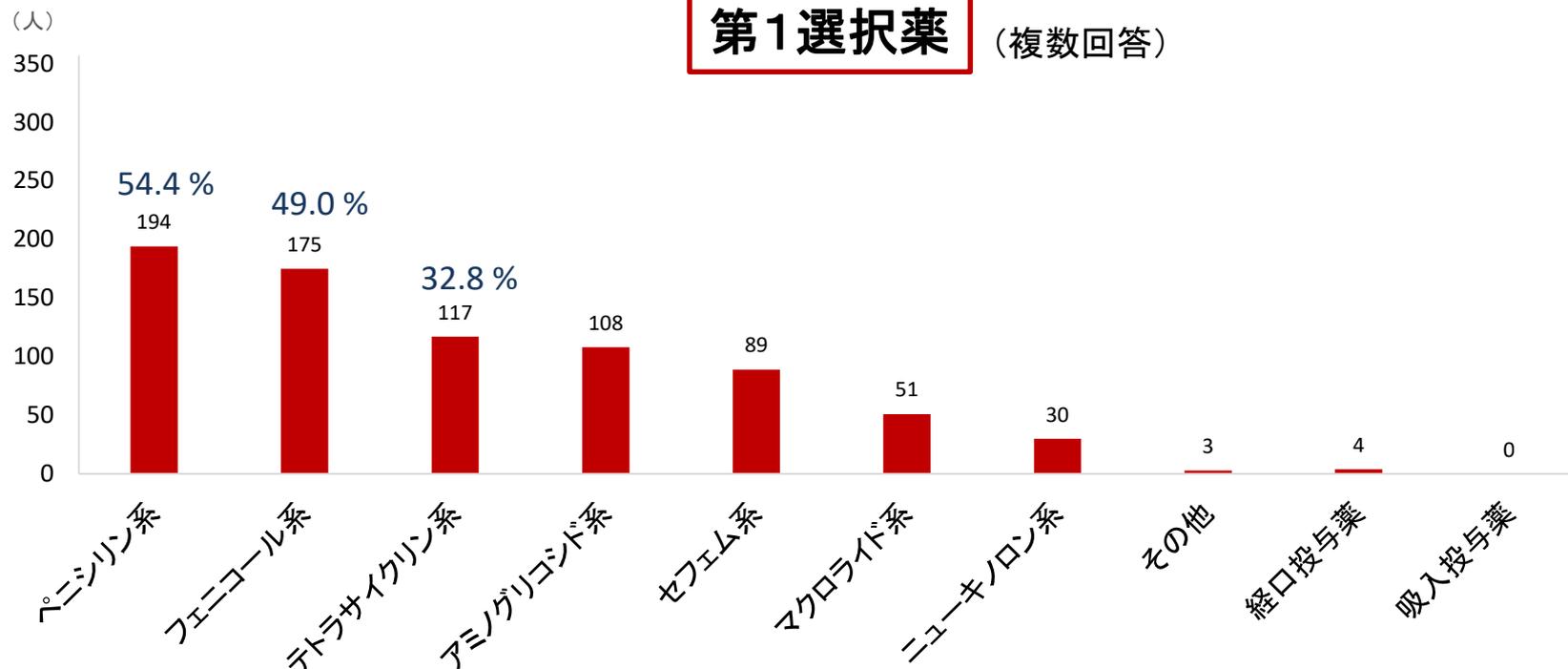
- ・ホスミシン
- ・モノメキシシ
- ・前述2剤の効果がなければ選択肢は無いように思う
- ・第3は使わない
- ・栄養で投薬なし

子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

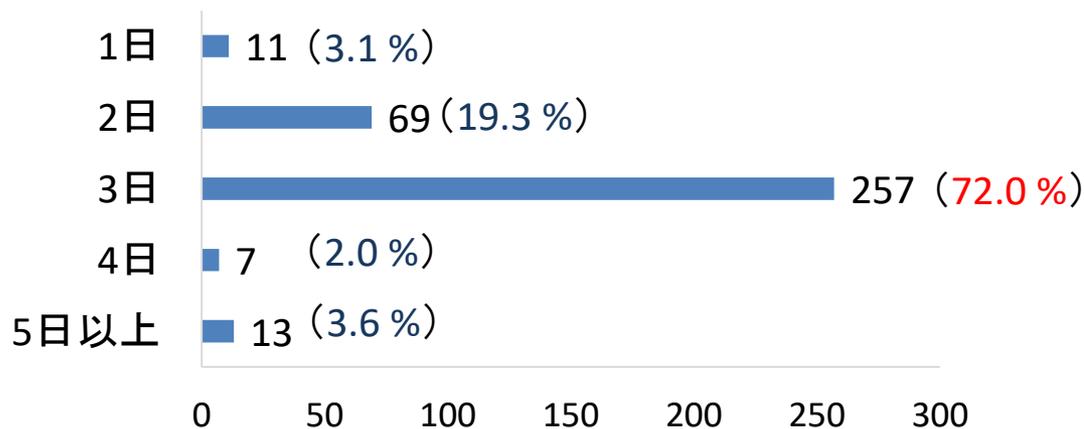
子牛育成期(3~9カ月齢)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

回答者数:357人

第1選択薬 (複数回答)



第1選択薬の継続使用期間は主にどのくらいですか？



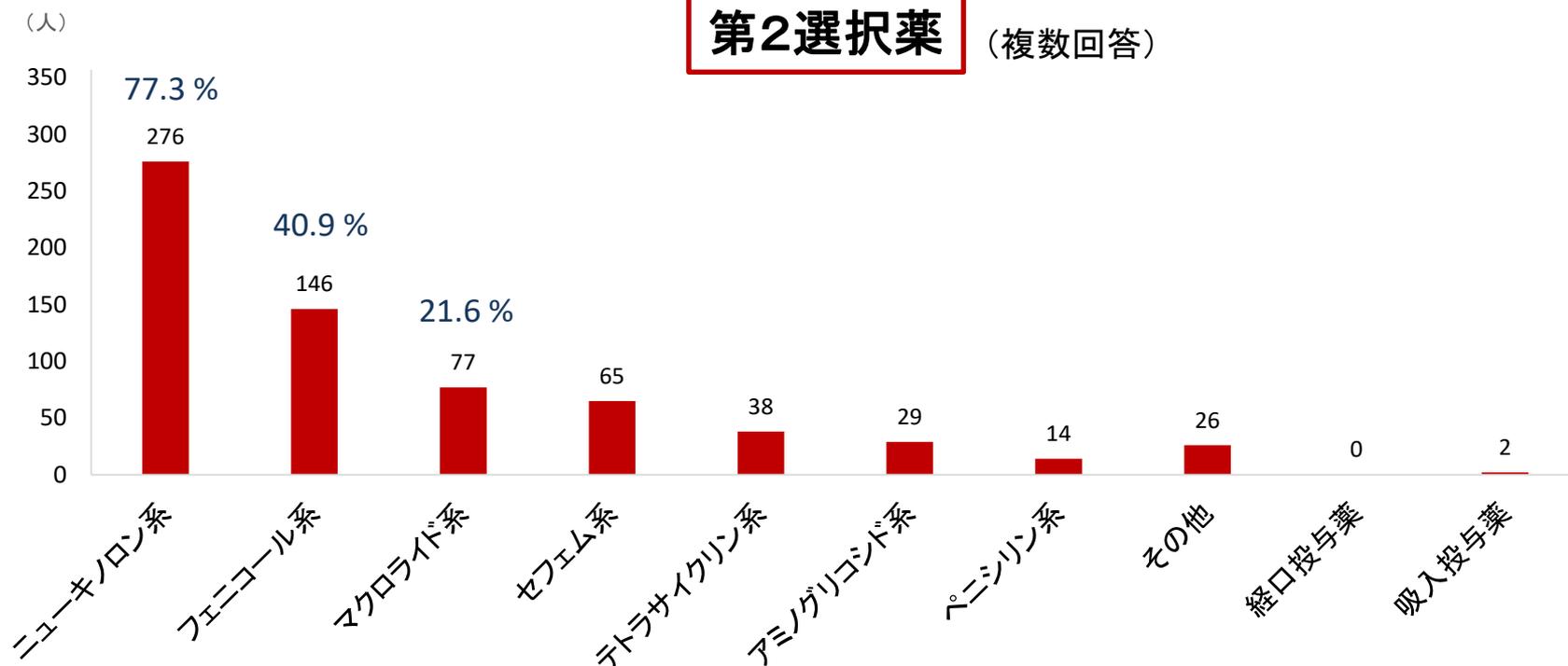
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

子牛育成期(3~9カ月齢)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

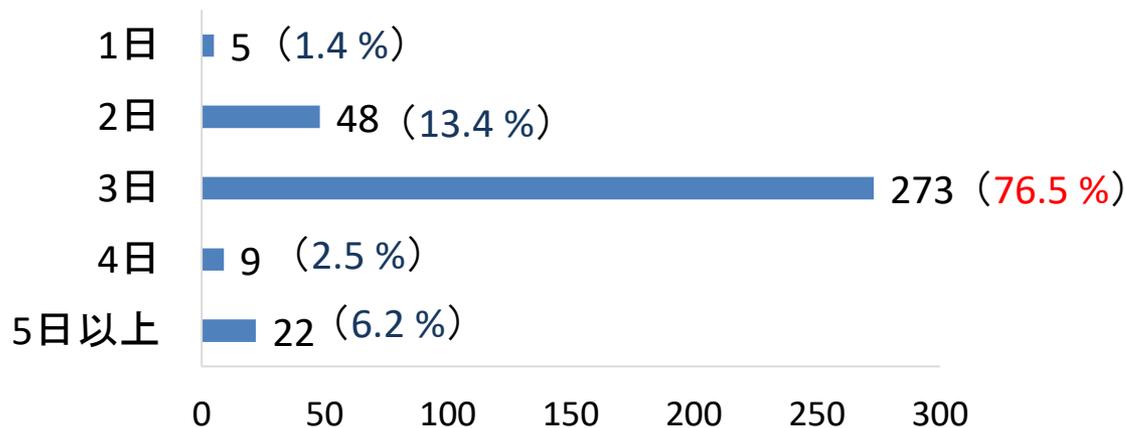
回答者数:357人

第2選択薬

(複数回答)



第2選択薬の継続使用期間は主にどのくらいですか？



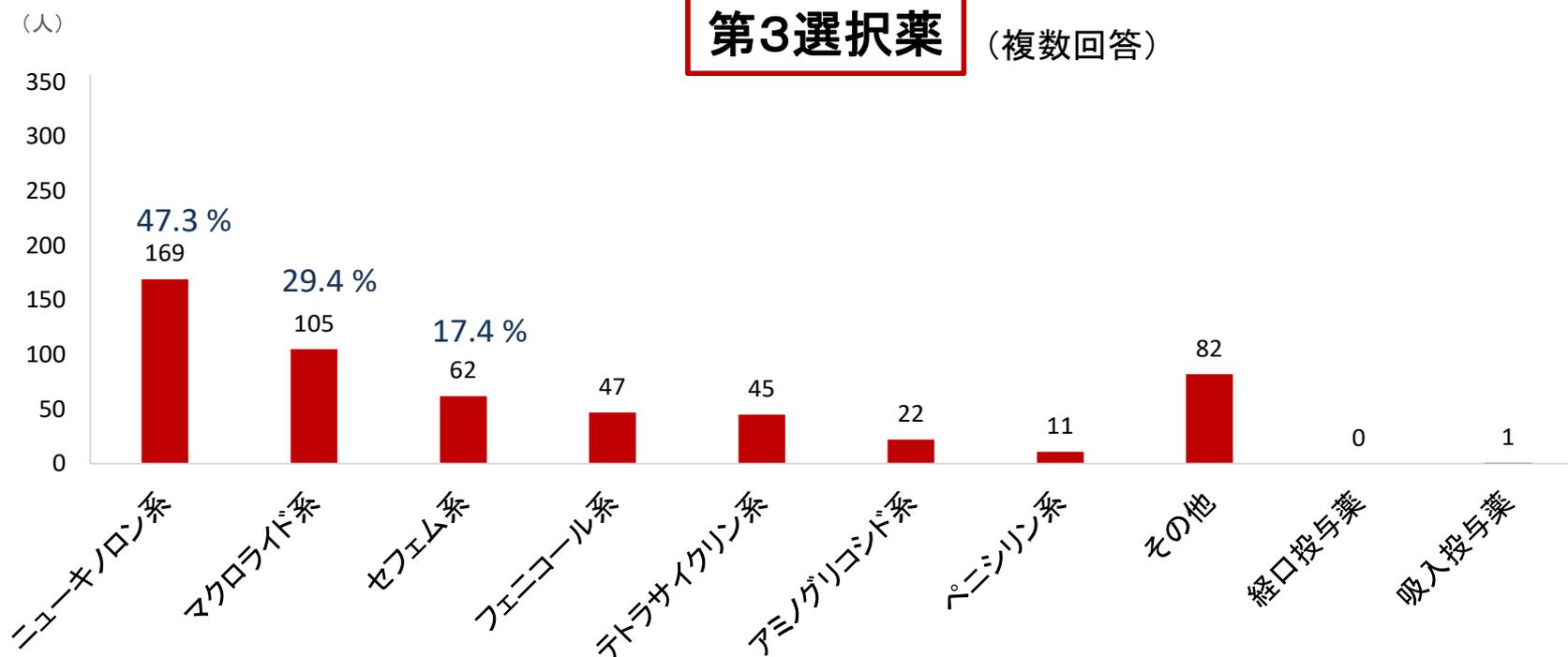
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

子牛育成期(3~9カ月齢)における呼吸器病に対する抗菌剤利用

回答者数:357人

第3選択薬

(複数回答)



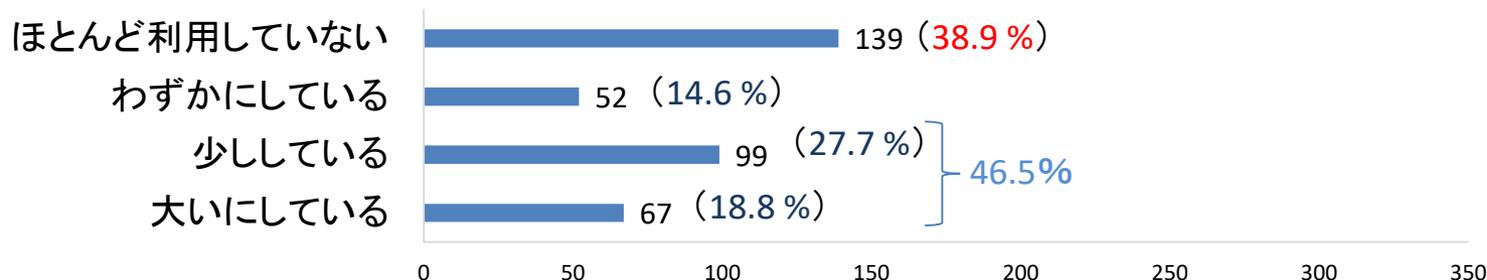
その他

- ・ホスミシン
- ・治癒しない牛は慢性化しており経過観察
- ・その時に応じて

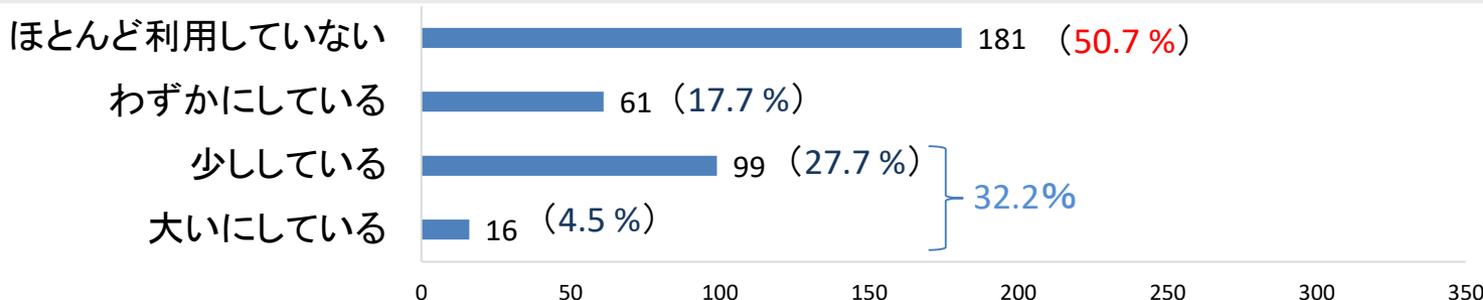
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

回答者数:357人

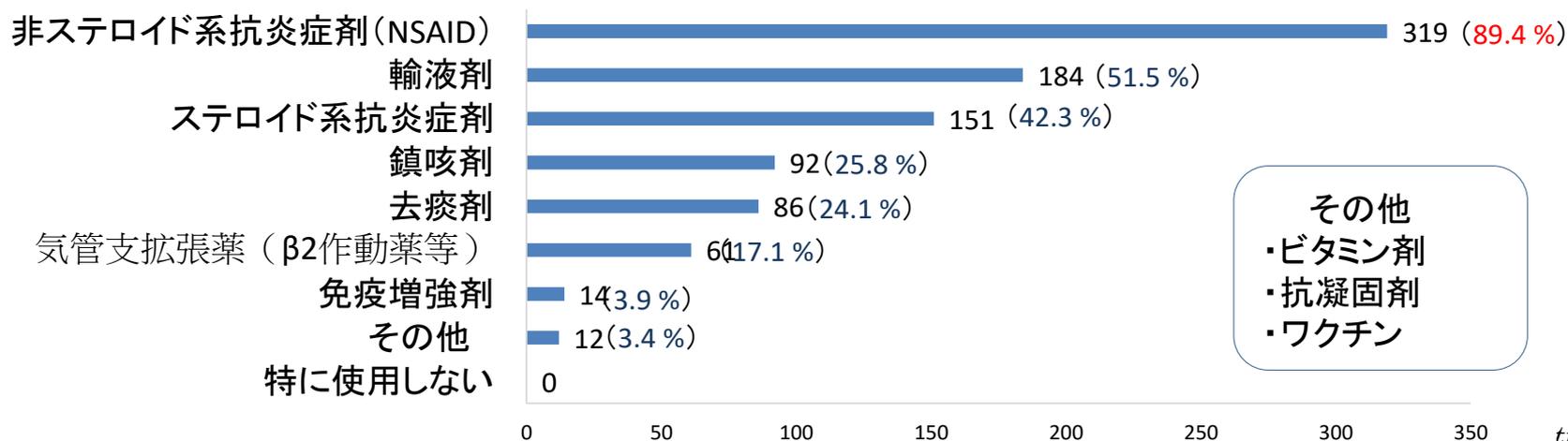
薬剤選択に、症例発生農場における過去の薬剤感受性情報を利用していますか？(1つ回答)



呼吸器病発症予防のために抗菌剤を投与していますか？(1つ回答)



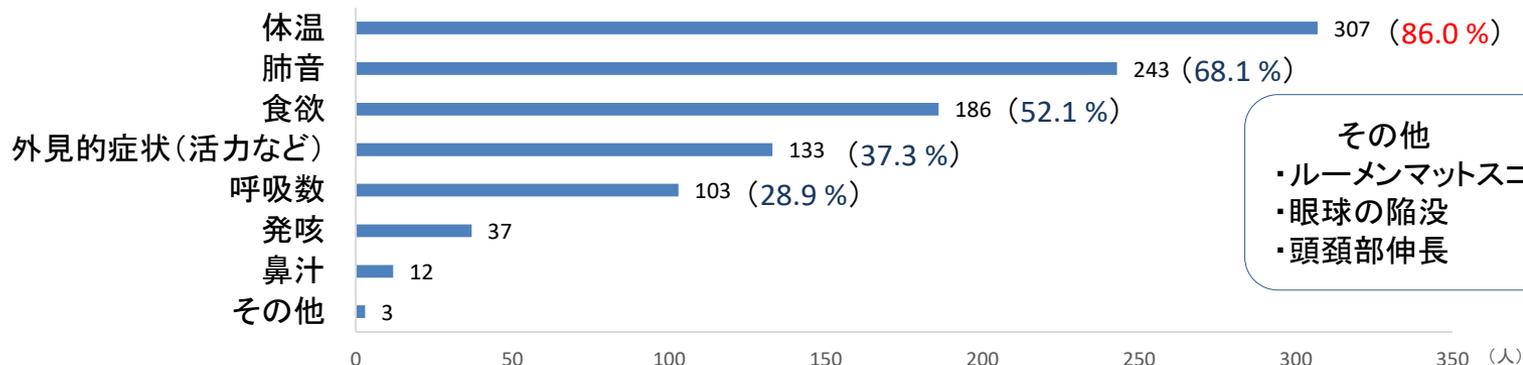
呼吸器病症状が重度の場合、抗菌剤以外に主に併用する薬剤はありますか？(複数回答)



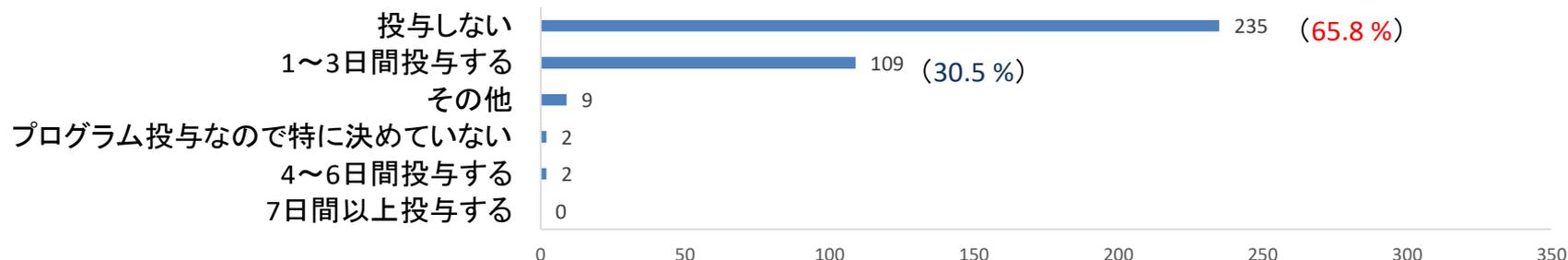
子牛の呼吸器疾患の治療について(抗菌剤による治療)

回答者数:357人

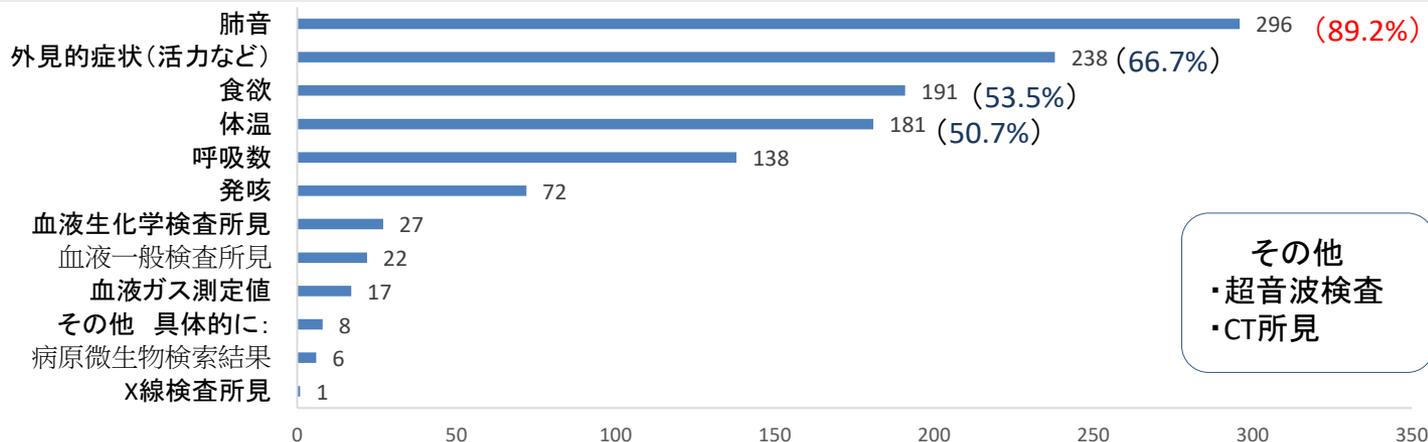
どの臨床所見に注目して治癒と診断しますか？(3つまで回答)



治癒と診断した後も抗菌剤を投与しますか？(1つ回答)



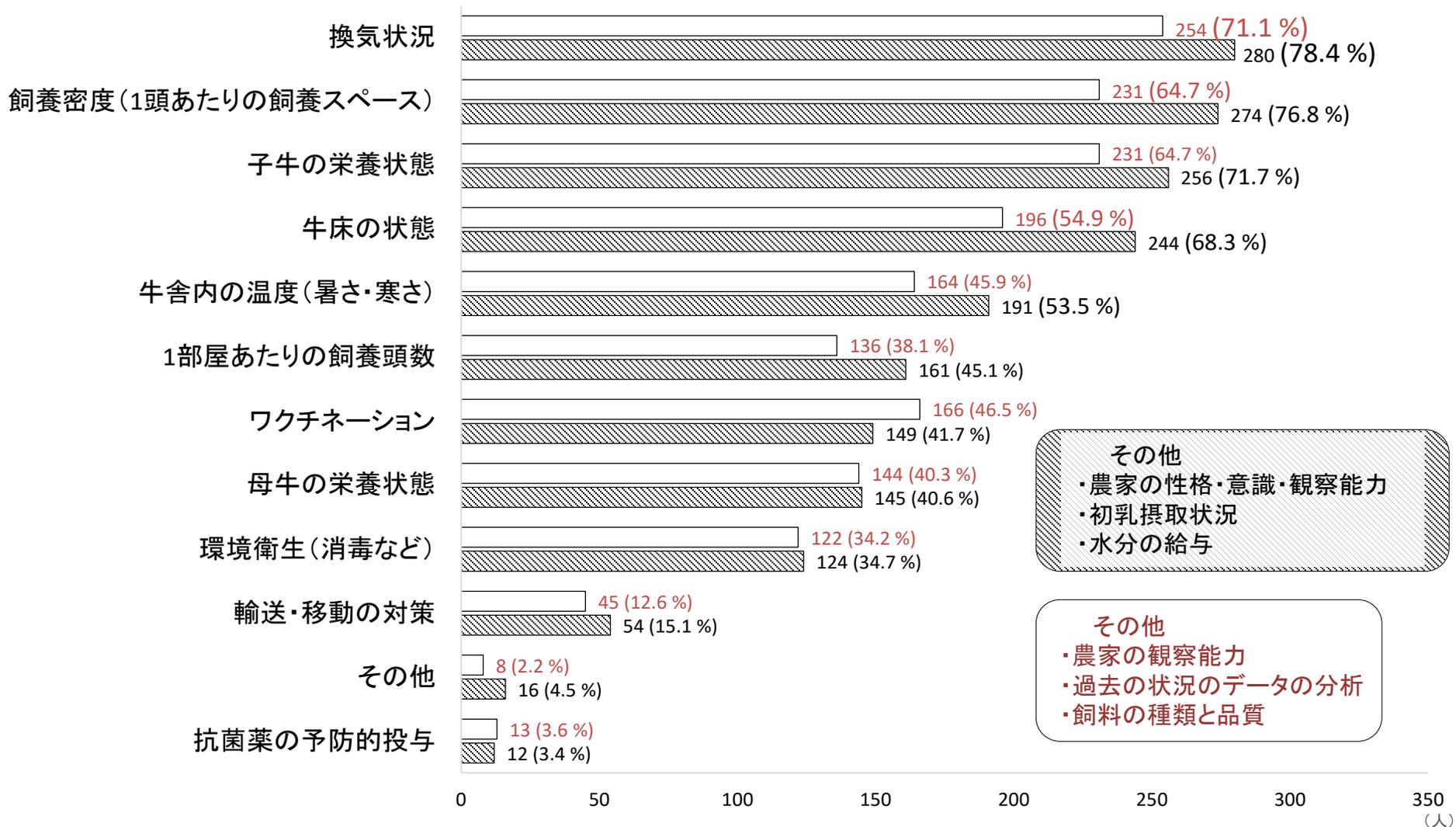
子牛の呼吸器疾患の予後判定のための主に基準としているものは何ですか？(複数回答)



子牛の呼吸器疾患の予防について

回答者数: 357人

- 呼吸器疾患の多い農家と少ない農家でのどのような違いがあると思いますか？(複数回答)
- 呼吸器疾患を管理指導(予防)する上で、特に重要だと思うことは何ですか？(複数回答)



まとめ・謝辞

- 本アンケート結果は、全国の生産現場における獣医師の呼吸器病へのそれぞれの対処法や考え方を表したものであり、他の獣医師の取り組みを知ることは、これまでの取り組みを振り返るきっかけになるとともに、今後、呼吸器病の診断、治療および予防法を改善する上での重要な情報となると考えられた。
- 本アンケート調査は、家畜感染症学会の平成28年度事業計画に則って企画され、学会会員の賛同を得て実施され、357名の獣医師にご回答を頂いた。これらの方々のご協力に、心より感謝いたします。